



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月3日

上場会社名 三京化成株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8138 URL <http://www.sankyokasei-corp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川和夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 糸原博一 (TEL) 06-6262-2881  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	16,047	9.3	298	31.1	461	57.2	△76	—
25年3月期第3四半期	14,684	△6.7	227	△5.8	293	4.7	175	22.1

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 52百万円(△75.9%) 25年3月期第3四半期 218百万円(184.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△6.02	—
25年3月期第3四半期	13.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	15,021	7,775	51.8
25年3月期	14,276	7,826	54.8

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 7,775百万円 25年3月期 7,826百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.25	—	4.25	8.50
26年3月期	—	4.25	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.25	8.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,400	3.4	370	11.5	530	28.6	△20	—	△1.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期3Q	15,600,000株	25年3月期	15,600,000株
26年3月期3Q	2,834,321株	25年3月期	2,852,594株
26年3月期3Q	12,749,963株	25年3月期3Q	12,755,736株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済政策・金融政策への期待感などから円高の解消、株価の上昇が進み、輸出企業を中心に企業業績の改善が見られるものの、原油高や海外経済の下振れリスク懸念などもあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、お客さま本位の積極的な営業活動に注力するとともに、市場の変化を先取りした提案型営業活動の推進など、営業施策の強化に努めてまいりました。

これらの結果、特に土木・建材資材関連分野、化学工業関連分野が大きく伸長し、全体として増収となったほか、営業利益、経常利益も大幅な増益となりましたが、持分法適用関連会社（中央理化学工業株式会社）の全株式について、同社の親会社である三菱化学株式会社と譲渡契約を締結したことにより譲渡損失（特別損失）が発生したことから、四半期純利益は大幅な減益となりました。売上高・利益の実績及び前年同期比の状況は次のとおりであります。

売上高160億4千7百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益2億9千8百万円（前年同期比31.1%増）、経常利益4億6千1百万円（前年同期比57.2%増）、四半期純損失7千6百万円（前年同期は1億7千5百万円の四半期純利益）。

なお、事業分野別の売上概況は、次のとおりであります。

## &lt;土木・建材資材関連分野&gt;

土木関連分野では、公共事業の着工の本格化、首都圏を中心とした大型マンションや倉庫等の建設や東日本大震災の復興需要の拡大等を背景に、基礎工事用のコンクリート二次製品やセメント添加剤等の関連薬剤が増加し増収となりました。

建材資材関連分野では、消費税増税前の駆け込み需要の影響もあって住宅建設が高水準で推移しており、住宅造作関連商材・什器関連資材が大幅に増加したほか、省エネ・健康志向から内装用高機能壁紙や断熱ウレタン用薬剤が堅調で大幅増収となりました。

この結果、売上高は55億1千1百万円（前年同期比15.9%増）となりました。

## &lt;情報・輸送機器関連分野&gt;

情報関連分野では、パソコンやデジタル家電は国内生産の縮小の影響を受けて低迷しており、関連商材が減少しましたが、スマートフォンやタブレット等の情報端末は、旺盛な需要により関連部材が伸長し微増収となりました。

輸送機器関連分野では、自動車が円安効果で一部北米中心に輸出が増加したほか、国内も消費税増税前の駆け込み需要の影響もあって生産が回復傾向にあり、成形用樹脂等の関連部材が増加し増収となりました。

この結果、売上高は43億7千3百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

## &lt;日用品関連分野&gt;

日用品関連分野では、化粧品関連は猛暑の影響から夏用基礎化粧品が好調で、特に紫外線対策用薬剤が新規採用もあって伸長しましたが、製靴関連は国内生産の縮小や安価輸入品との競合から低迷し減収となりました。

フィルム関連分野では、菓子・食料用途の軟包装用フィルムは全般に低調に推移しましたが、冷菓用・飲料用の包装材が伸長したほか、高機能複合フィルムも新規採用もあって増収となりました。

この結果、売上高は21億9千8百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

## &lt;化学工業関連分野&gt;

繊維関連分野では、安価な海外品の影響を受けて繊維二次加工の国内生産の縮小に歯止めがかからず、また合成繊維も生産の海外移転による国内市場の縮小の影響から、関連加工薬剤や油剤等が減少し減収となりました。

化学工業関連分野では、円安の影響からエンジニアリングプラスチック等の輸出販売が東南アジア向けに好調に推移したほか、基礎化学品に大型の輸入案件があつて大幅な増収となりました。

この結果、売上高は39億5千7百万円（前年同期比12.2%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産の部

流動資産は前連結会計年度末に比べ、9億7千4百万円増加し、110億7千1百万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が4億7千4百万円、その他に含まれる未収入金が4億6千8百万円増加したことによるものであります。なお、未収入金が増加した主たる要因は、持分法適用関連会社株式の売却であります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ、2億2千8百万円減少し、39億5千万円となりました。

これは主に、投資有価証券が3億5百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ、7億4千5百万円増加し、150億2千1百万円となりました。

## ②負債の部

流動負債は前連結会計年度末に比べ、7億2千7百万円増加し、66億1百万円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金が5億6千7百万円、未払法人税等が1億7千5百万円増加したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ、6千8百万円増加し、6億4千4百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ、7億9千6百万円増加し、72億4千6百万円となりました。

## ③純資産の部

純資産合計は前連結会計年度末に比べ、5千万円減少し、77億7千5百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が1億8千5百万円減少し、その他有価証券評価差額金が1億2千万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年12月24日付で、平成26年3月期通期連結業績予想数値について修正公表を行いました。 「法人税、住民税及び事業税(法人税等合計)」の計算に誤りがあったため、当期純利益を下表のとおり修正しております。これは「339百万円」とすべきであった「法人税、住民税及び事業税(法人税等合計)」を「177百万円」としたことによるものであります。なお、個別業績予想は変更ありません。

## 平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,400	370	530	130	10.18
今回修正予想(B)	20,400	370	530	△20	△1.57
増減額(B-A)	—	—	—	△150	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	19,720	331	412	253	19.90

なお、業績予想につきましては、現時点での入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績は今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,507,225	2,537,483
受取手形及び売掛金	7,131,777	7,606,701
有価証券	100,000	—
商品	302,588	389,464
その他	68,677	550,900
貸倒引当金	△12,729	△12,683
流動資産合計	10,097,539	11,071,866
固定資産		
有形固定資産	784,129	770,157
無形固定資産	54,430	41,289
投資その他の資産		
投資有価証券	3,158,055	2,852,250
その他	183,487	286,900
貸倒引当金	△1,184	△585
投資その他の資産合計	3,340,358	3,138,565
固定資産合計	4,178,919	3,950,013
資産合計	14,276,458	15,021,880
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,612,457	6,179,857
未払法人税等	58,029	233,260
賞与引当金	59,130	13,642
役員賞与引当金	19,000	14,250
その他	125,618	160,678
流動負債合計	5,874,234	6,601,688
固定負債		
退職給付引当金	728	854
役員退職慰労引当金	208,931	223,027
その他	365,892	420,630
固定負債合計	575,551	644,511
負債合計	6,449,786	7,246,200
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,716,600	1,716,600
資本剰余金	1,433,597	1,433,631
利益剰余金	4,834,816	4,649,511
自己株式	△579,622	△574,779
株主資本合計	7,405,392	7,224,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	382,037	502,995
土地再評価差額金	46,317	46,317
為替換算調整勘定	△7,075	1,404
その他の包括利益累計額合計	421,279	550,717
純資産合計	7,826,671	7,775,680
負債純資産合計	14,276,458	15,021,880

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	14,684,776	16,047,856
売上原価	13,326,129	14,611,742
売上総利益	1,358,647	1,436,113
販売費及び一般管理費	1,131,073	1,137,686
営業利益	227,573	298,427
営業外収益		
受取利息	6,010	7,680
受取配当金	40,298	41,029
有価証券売却益	—	10,088
持分法による投資利益	5,430	93,225
仕入割引	3,513	3,333
還付消費税等	5,729	—
その他	10,092	13,290
営業外収益合計	71,074	168,647
営業外費用		
支払利息	77	—
売上割引	4,752	4,278
その他	434	1,648
営業外費用合計	5,264	5,926
経常利益	293,383	461,148
特別損失		
投資有価証券売却損	—	236,043
固定資産除売却損	74	—
ゴルフ会員権評価損	—	1,111
特別損失合計	74	237,155
税金等調整前四半期純利益	293,309	223,993
法人税、住民税及び事業税	118,141	300,778
法人税等合計	118,141	300,778
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	175,168	△76,785
四半期純利益又は四半期純損失(△)	175,168	△76,785



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	175,168	△76,785
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43,395	120,901
為替換算調整勘定	62	8,480
持分法適用会社に対する持分相当額	△125	55
その他の包括利益合計	43,332	129,437
四半期包括利益	218,500	52,652
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	218,500	52,652
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。